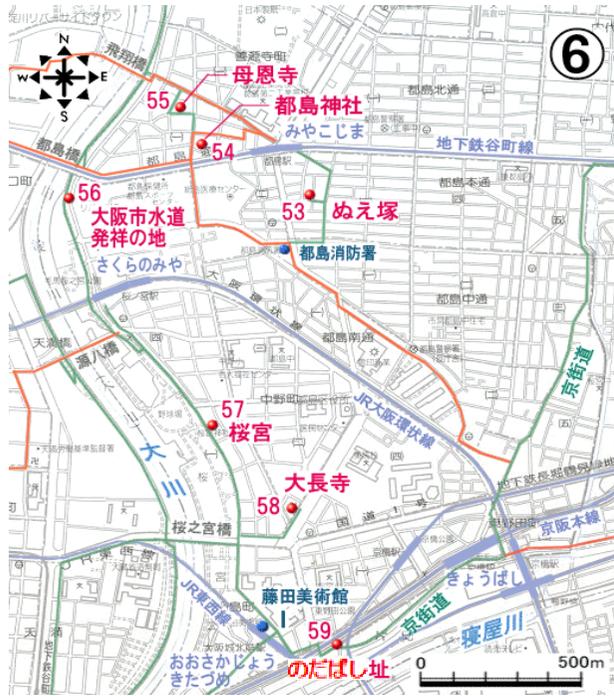


[6] 都島区

- 53 **ぬえ塚**：平安時代（1150年ごろ）近衛天皇が毎夜「ぬえ（鵜）」という怪物に悩まされる事件があった。それを源頼政が射たおし、舟に乗せて淀川に流したところこの辺りに漂着した。塚は里人が怪物の祟りを恐れて葬った跡という。（都島区都島本通三丁目18）
- 54 **都島神社**（都島区都島本通一丁目5）
- 55 **母恩寺**（都島区都島本通一丁目20）
- 56 **大阪市水道発祥の地**：明治28年（1895）11月13日、大阪市最初の上水がここから送水された。その後大阪市の発展につれて拡張工事が重ねられたが、大正4年（1915）9月柴島浄水場の完成で閉鎖された。（都島区中野町五丁目、毛馬桜之宮公園内）
- 57 **桜宮**（都島区中野町一丁目12）
- 58 **大長寺**（都島区中野町二丁目1）
- 59 **のだばし址**：京街道が淀川を渡るところに架けられた交通上重要な橋で、江戸時代には幕府が直轄管理する数少ない橋（公儀橋）の一つであった。（都島区片町二丁目9-39）
- I **藤田美術館**：明治時代の豪商、藤田伝三郎父子収集の古美術品を収蔵している。国宝9件、重要文化財50件を数える。（都島区網島町）



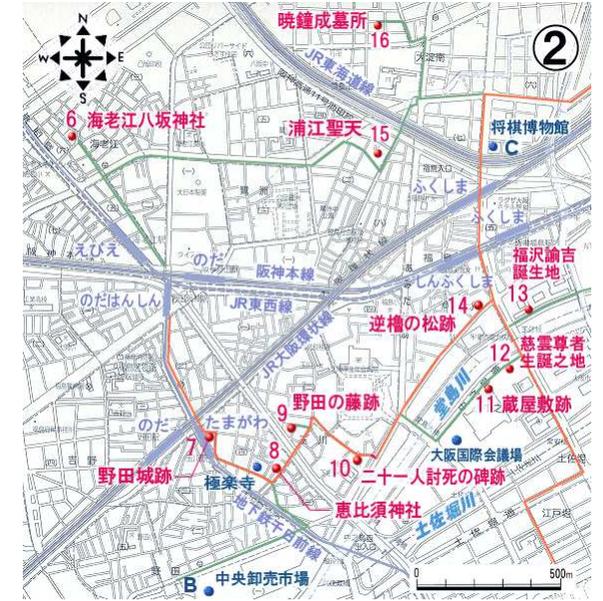
53 ぬえ塚



56 大阪市水道発祥の地

[2] 福島区（一部北区）

- 6 **海老江八坂神社**（福島区海老江六丁目4）
- 7 **野田城跡**：安土桃山時代の城跡で、織田軍と石山本願寺との戦いの場ともなったが現在は城跡を示す遺構は残っていない。（福島区玉川四丁目11）
- 8 **恵美須神社**（福島区玉川四丁目1）
- 9 **野田の藤跡**：足利将軍義詮や豊臣秀吉も訪れたという藤の名所で、浪花百景にも描かれているが、現在では当時を思わせるものは何も残っていない。（福島区玉川二丁目1、春日社前）
- 10 **二十一人討死之碑跡**：石山本願寺のころ、第10代宗主証如を守るため21人の門徒がよく戦い討ち死にしたといい、そのことを記した碑がここにあった。（福島区玉川一丁目4、下福島中学校構内）なお、野田城跡近くの極楽寺門前には同様のことを記した碑がある。
- 11 **蔵屋敷跡**：高松藩蔵屋敷の跡（北区中之島五丁目3）
- 12 **慈雲尊者生誕の地**：江戸時代の学僧慈雲は、享保3年（1718）この地にあった高松藩蔵屋敷で生まれた。（北区中之島五丁目3）
- 13 **福沢諭吉誕生地**：福沢諭吉はここにあった中津藩蔵屋敷で生まれた。ほどなく父の急死に会い中津に戻ったが、後年来阪して適塾に入門し、後に塾頭になった。（福島区福島一丁目1）
- 14 **逆櫓の松跡**：源義経が屋島に赴く際、軍船に取り付ける櫓のことで梶原景時と論争したといい、その場所がここに生えていた老松の下であったという。（福島区福島二丁目2-4）
- 15 **浦江聖天=了徳院**（福島区鷺洲二丁目14）
- 16 **暁鐘成墓所**：鐘成は、地誌の傑作といわれる「撰津名所図会大成」を著したが生前には刊行されず、昭和3年（1928）になってようやく活字化された。（北区大淀中四丁目5-12、勝楽寺）
- B **中央卸売市場**：江戸時代以降、天満（青物）、雑喉場（魚）、永代浜（塩干魚）、など各所にあった市場の機能を統合する卸売市場として昭和6年（1931）に誕生した。（福島区野田一丁目）



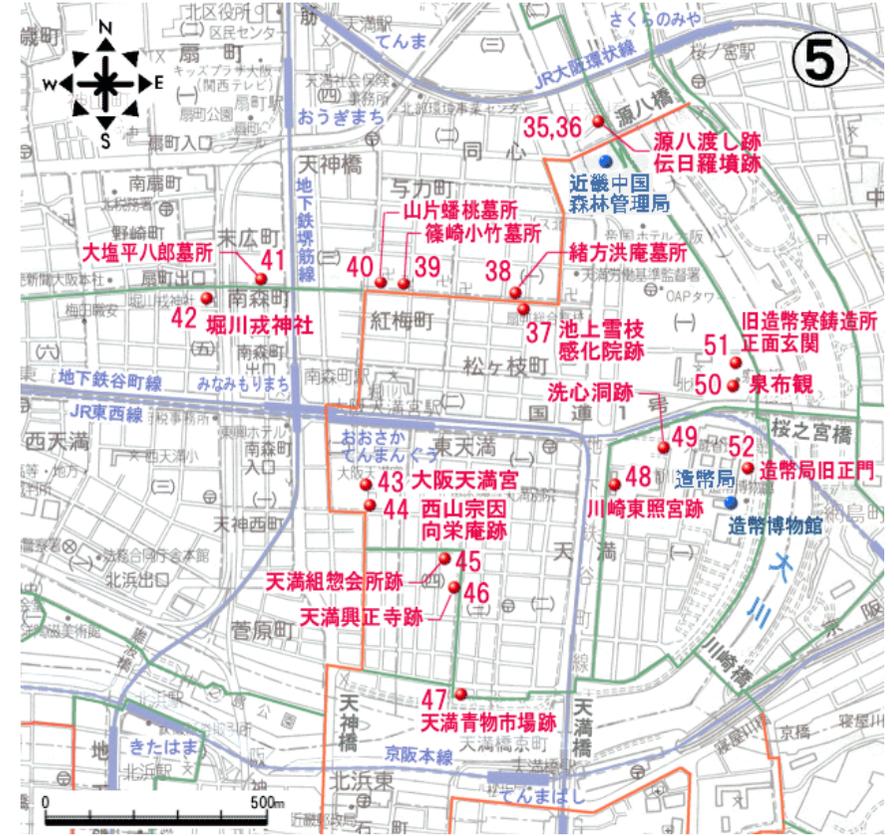
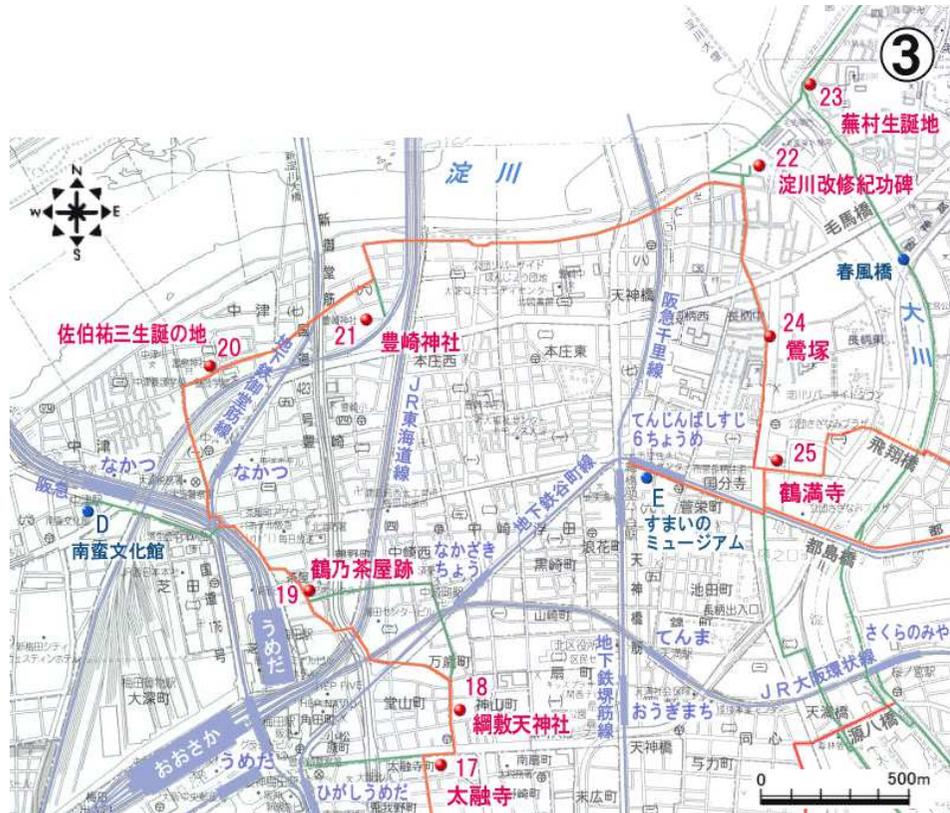


9 野田の藤 (良花百景)



15 浦江聖天

[3] 北区北部 (一部都島区)



43 大阪天満宮



47 天満青物市場跡